



# 東小つうしん

— 学校・家庭・地域のみんなで育む「東っ子」 —

五葉の銀杏に日輪

## 「いじめ」を生まない「東小」にしていくには

校長 小樋山 寿幸

先月25日(火)の「いじめ見逃しゼロスクール集会」で、子どもたちに次のことを伝えました。(当日出張のため、教頭先生が代読しました。)

みなさん一人一人、ここにいるすべての人には、生まれたときから幸せに生きる権利があります。これを人権といいます。いじめは、この、一人一人が幸せに生きる権利を認めず、傷つけることです。「いじめは行ってはダメだ、してはいけない。」だれもが知っていることです。でも、いじめがなくなることがありません。なぜ、でしょうか。

さて、一人一人の幸せに生きる権利を大事にするためには、いじめをしない、見逃さないことがとても大切になってきます。そのためにみなさんができることがたくさんあります。その中で5つ、みなさんに心にとめてほしいことをお話します。

- その1 相手を思いやる言葉やふるまい、相手を傷つけることばやふるまいがあることを知ること
  - その2 相手と心地よい関係をつくるスキルを身に付けること
  - その3 どのような言葉づかいやふるまいをしたら、互いに心地よくいられるかを考え、行動する力を高めること
  - その4 「いじめかな」と思う場面を見かけたら、見て見ぬふりをせず、「だめだよね」「おかしいよね」と声にし、「いじめはいけない」という雰囲気をつくること
  - その5 聴き合う学び合う学習をとおして、仲間に共感する力を高めること
- 東っ子みんなで、すべての人が幸せに生きる権利を大事にできる学校をつくっていきましょう。

さて、いじめを研究する森田洋司氏は「いじめの四層構造論(右の図をご覧ください。)」を唱えました。これは、「いじめは常に『被害者(いじめられっ子)』『加害者(いじめっ子)』『観衆(周りではやしたてる子)』『傍観者(見て見ぬふりをする子)』が関わっている」という考えです。

これら4者の中で、いじめを止める重要な位置にあるのは「傍観者」と言われる子どもたち

の存在です。「傍観者」が「いじめ」に対し「No!」「いじめはだめだ」「してはいけない」とい

### いじめの場の空気を最初に変えるのは「傍観者」

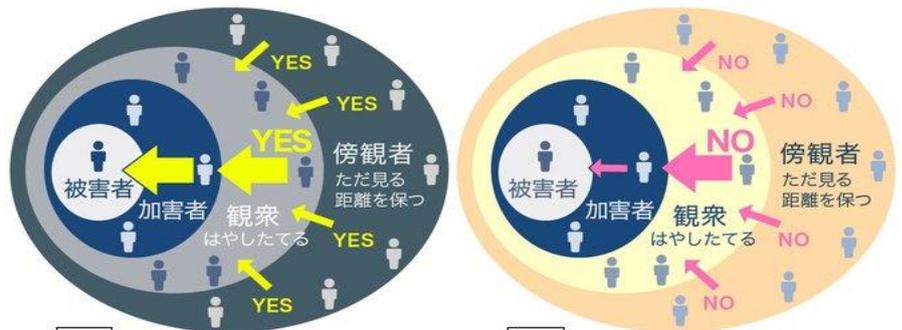


図1 観衆がはやし立てることで、加害者に「大きなYES」を、傍観者は無関心を装うことで「小さなYES」を送る。この連鎖がいじめを許容する空気をつくる

図2 傍観者たちが「いじめはいけない」などと互いにささやき合ったりして「小さなNO」をたくさん発信し、観衆がはやし立てづらいう空気をつくれれば、次第にいじめを許容しない空気ができていく

(出所) ストップいじめ!ナビ

う「声（小さな勇気）」を出し、その連鎖によって「いじめの場の空気」を変え、「いじめはNo！絶対ダメ」の「空気」を学級や学校につくりだしていきます。



「心にとめてほしい5つのこと」をもとに、子どもたちが「声（小さな勇気）」を出せ、どの子にとっても心地よい環境としての学校を、子どもたちと一緒につくっていきます。保護者のみなさん、地域の方々にも、考えを共有していただき、子どもたち一人一人が「小さな勇気」を發揮できるよう教え、サポートくださることをお願いします。



### 【topic】 読書旬間の様子

～ ファミリー班読書 ～

11月25日（月）、ファミリー班読み聞かせを行いました。あらかじめ、班長が読み聞かせる図書を選び、当日に向け読み聞かせの練習を重ねたうえでの開催となりました。6年担任の指導のもと、班長としての責任と積み重ねた練習の成果があり、下学年の子どもたちへ丁寧に読み聞かせすることができたようです。6年生一人一人の素敵な姿が見られました。

子どもたちの活動の様子は、ホームページからご覧いただけます。下 URL からご覧ください。個人情報保護のため掲載写真の取扱いには十分注意しておりますが、お気づきのことがございましたらご連絡ください。

【問い合わせ：学校（校長）42-2674】 <https://gosenhigashisyousakura.ne.jp/>



### 【お知らせ】

個人情報保護のため、特定の児童が特定される可能性のある写真は非公開としております。なお、「東っ子ニュース」での写真公開は、個人情報に配慮し掲載しております。